

病虫害発生予察注意報(第1号)

平成29年7月31日
神奈川県農業技術センター

病虫害名：ハマキムシ類

作物名：チャ、果樹全般

1 発生地域：県内全域

2 発生量：多

3 注意報発令の根拠

- (1) 平成29年7月のチャにおけるハマキムシ類の被害カ所数(1㎡あたり)は1.0であり、
平年(0.1)に比べて高い。
- (2) 山北町川西と相模原市寸沢嵐におけるフェロモントラップ調査では、成虫の誘殺数が
チャハマキとチャノコカクモンハマキで6月下旬から極めて多い状態が続いている
(図1, 図2)。
- (3) 山北町川西におけるチャハマキとチャノコカクモンハマキの予察灯への誘殺数も、
同様に極めて多い状態が続いている。
- (4) 伊勢原市田中におけるチャハマキとチャノコカクモンハマキの予察灯への誘殺数も、
6月下旬から同様に極めて多い状態が続いている。
- (5) 7月25日付け3か月予報(気象庁発表)では、気温は高い傾向でありハマキムシ類
の増殖に好適な条件が続くと考えられる。

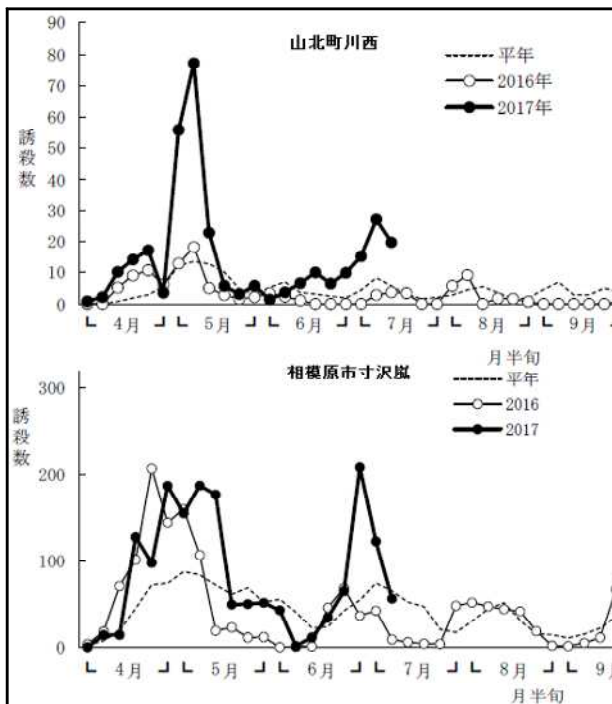


図1.チャハマキ雄成虫のフェロモントラップ誘殺数(山北町、相模原市)

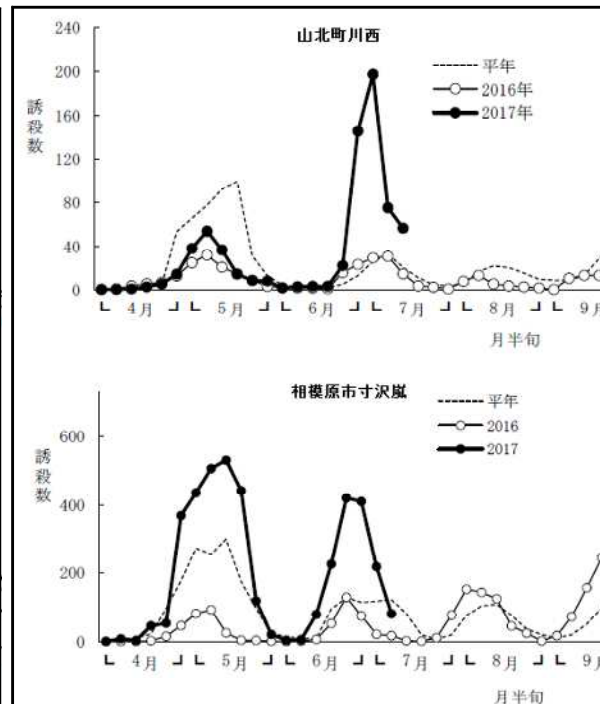


図2.チャノコカクモンハマキ雄成虫のフェロモントラップ誘殺数(山北町、相模原市)

4 防除対策

- (1) ほ場をこまめに観察し早期発見に努め、ハマキムシ類が成長する前に早期に防除する。
- (2) チャでは、この時期に葉の食害が多いと、翌年の収量が大きく減収する。
- (3) カキでは、果実の葉に接する面の食害の他、ヘタに沿って浅く食害することがある。
ナシでは、有袋果や葉に接した果実の表面を食害する。
- (4) チャノコカクモンハマキ薬剤抵抗性個体群の報告が増えているので、同じ系統の剤の連用は特に避ける。

5 防除薬剤

防除薬剤の例を表に示した。なお、農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守する。

表 薬剤例

作物名	適用病害虫	薬剤名	IRACコード
チャ	チャハマキ 及び チャノコカク モンハマキ	カスケード乳剤	15
		エクシレルSE	28
		スピノエースフロアブル	5
		アフーム乳剤	6
		エスマルクDF	11A
カキ	ハマキムシ類	アタブロンSC	15
		ロディー水和剤	3A
		サムコルフロアブル10	28
		フェニックスフロアブル	28
ナシ	ハマキムシ類	エクシレルSE	28
		マトリックフロアブル	18
		ディアナWDG	5

神奈川県農業技術センター
 病害虫防除部
 〒259-1204 平塚市上吉沢1617
 TEL 0463-58-0333
 FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/>